

【法的根拠】  
日本国憲法 教育基本法  
学校教育法 学習指導要領

学校の教育目標  
・進んで学習する子 ・思いやりのある子 ・明るく元気な子

【地域の実情】学校の教育活動に関して理解があり、協力的である。  
【学校の実情】挨拶がきちんとでき、意欲的に教育活動に取り組むことができる。  
【児童の実態】他者を思いやり、落ち着いた態度で教育活動に取り組むことができる。  
【教師の願い】善悪の判断が自分自身ででき、精神・身体的にも健康である児童の育成。  
【保護者の願い】児童の主体的な力の育成とともに、社会や他者と協

学校の教育目標	進んで学習する子 思いやりのある子 明るく元気な子
特別活動の目標	・自主的な活動を充実し、集団の中で自己を生かす能力を養う。・集団の一員としての自覚を深め、友達と協力していく態度を養う ・集団活動を通して児童相互の人間関係を深める
目指す子供像	集団の中で、お互いのよさを認め合い、目標を達成するために協力しながら行動できる子
特別活動の重点目標	学級活動・児童会活動・学校行事の各場面でお互いのよさを認め合いながら、自主的な態度を養っていく。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事	
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力的に諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	
指導の方針	○学級生活を楽しく豊かにするための話し合い活動ができるようにする ○話し合っただけは必ず実践し、実践後も反省できるようにする。 ○学級の一員としての自覚を高めるとともに、仕事を分担し協力してやり遂げるようにする。 ○集団生活を営むための望ましい行動の仕方を身に付けるようにする。 ○生活指導との関連を図る。	○学校生活を楽しく豊かなものにするための話し合いができるようにする。 ○話し合っただけは必ず実践し、実践後も反省できるようにする。 ○一人一人の児童が活動を通して、自主性や社会性を育てるようにする。 ○地域や社会とのつながりを深め、ボランティア精神を養っていく。	○児童の希望を生かして適切なクラブを設け、児童の創意工夫によって計画・運営できるようにする。 ○自発的・自主的に活動に取り組む中で、個性の伸長を図る。	○日常的学習や経験を総合的に発揮させるようにする。 ○積極的に参加し、活動に取り組むようにする。 ○集団の一員としての自覚を持たせ、感動的な体験を味わわせる。	
主な指導内容	○学級や学校の生活の充実と向上に関すること。 ・学級生活の諸問題の解決 ・学級の係の分担処理など ○日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること ・望ましい人間関係の育成 ・不安や悩みを解消 ・基本的な生活習慣の形成	○委員会活動 放送・図書・給食・保健・運動・集会 飼育・掲示・環境・代表 ○代表委員会活動 (4年生以上) 全校児童集会 ・1年生を迎える会・あいさつ運動 ・ユニセフ集会・SNSルール ・6年生を送る会	○クラブ活動 ・屋外スポーツ・屋内スポーツ・卓球・科学・ポッチャ・ボードゲーム・タブレット・音楽 ・アニメイラスト・手芸 ○クラブ活動見学	○儀式的行事 入学式・卒業式・始業式・終業式 ○学芸的行事 学習発表会・校内書き初め大会など ○健康安全・体育的行事 運動会・諸検診など ○遠足・集団宿泊的行事 総合科見学・社会・生活科見学・ウィンタースクール ○勤労生産・奉仕的行事	
配当時間	(1)1. 2年20、3～6年 25単位時間  (2)1. 2年5、3～6年10単位時間	1～4学年6単位時間(集会) 5・6学年35単位時間(集会6各種委員会14)	10単位時間	・儀式的行事:1～4年6単位時間、5、6年12単位時間 ・文化的行事:1、2年6単位時間、3～6年10単位時間 ・健康安全・体育的行事:5単位時間 ・遠足・集団宿泊的行事:1～4年10単位時間、5、6年20単位時間	
他の教育活動との関連	各教科	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにし、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の個性を生かしながら学級や学校の生活を送ることを、だれに対しても思いやりの心をもつこと、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事:学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事:国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事:体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成を図る。 ○遠足・集団宿泊的行事:社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。	
	道徳	・道徳的な心情、判断力、意欲、態度などが実践的な活動を通して深化されるよう、様々な場面を通して指導し、豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成に努める。特に、道徳の時間と日常の活動、自然・社会的体験活動との連携を深める。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活を送ることを、上学年では、だれに対しても思いやりの心をもつこと、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもつこと、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなでも協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をつつとを、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつこと、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にするこを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
	外国語活動	・言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度育成を図る。	外国が活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
	総合的な学習の時間	・課題解決的な学習や探求活動を通して、主体的かつ総合的に学習しようとする態度と能力を育てる。  ・グループ学習などの集団活動を通して、自他の意見や考えをまとめ生かしながら、協力する態度や能力を育てる。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とかかわり考える学習活動としての体験活動と勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	1. 学校から情報を発信し、学校・学級での子供たちの様子を家庭に知らせ、相互に子供の理解共に「子育てをする」という意識を醸成する。 2. 地域の行事などに積極的に参加を勧めると共ボランティア活動や文化的な活動などの実践を通して、地域社会との連携を図り地域社会の一員と自覚を深めさせる。 3. 地域の人材・施設との連絡などを密にし体験的な活動の充実を図る。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬老席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得たりする活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域のお囃子や踊りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。また、地域のスポーツ施設に向かい、地域のお年寄りによるチームと対戦することなどの活動も考慮する。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係者の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。	